

~~~~~  
改めて、今回の大震災で被災された組合・組合員の皆様にお見舞いを申し上げます。被災された組合員の皆様、被災地域全体を支援できるよう、全ク連では組織の力を結集し、取り組んでまいります。

~~~~~  
●民主党クリーニング業振興議員連盟が総会を開催
全ク連役員らが参加し、東日本大震災復興支援策等に関して意見交換を行う

民主党クリーニング業振興議員連盟は6月10日(金)、衆議院第二議員会館にて総会を開催した。議員連盟会長である赤松広隆衆議院議員(全ク連顧問)ら多数の議員が参加するこの総会では東日本大震災および福島第一原発事故の被災状況や復旧・復興策等が議題として挙がっており、青山亨会長ら全ク連三役、そして埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県の前理事長をはじめ役員らが出席し、クリーニング業界側からの意見を述べた。



開会の挨拶を行う赤松議員

議事に先立ち、赤松議員は「青山会長をはじめ、近隣の組合役員の皆様にご出席いただいたことに感謝申し上げます。現在、震災復興のための第2次補正予算を7月に組む予定であるので、本総会でクリーニング業界から政府への要望等をしっかりと汲み、議員連盟としての活動の方向性を定めたい」と挨拶を述べた。



東日本大震災の被災状況等について説明する青山会長

その後、東日本大震災の議題に移り、青山会長が各組合の被災状況等を説明した。また、今後の復興支援事業として、生活衛生振興助成金を利用して被災地域に被災した組合員等が早期に震災から立ち直るためのシステム作りを進めていることを報告した。

加えて厚生労働省健康局生活衛生課の堀江裕課長からも復興策として、昨年行われた内閣府行政刷新会議の事業仕分けの結果を踏まえ新たに創設した、生活衛生関係営業対策事業費補助金を復興事業費に充てる予定であること、また中小企業庁と連絡を取り合い、被災地に設置する仮設店舗についてクリーニング所を作る予定であることなどが説明された。生活衛生業者への融資に関しても、生活衛生改善貸付(衛経)の貸出限度の拡充や各種融資制度の「東日本大震災復興特別貸付」への一本化を図ることで、被災者が融資を受けやすくしたとの説明がなされた。

なお、今後の課題として被災者に対する融資を無利子に近づけていくことや、二重ローン問題解消が挙げられた。

《各種情報を発信中です》
全ク連ホームページ <http://www.zenkuren.or.jp/>
全ク連ツイッター <http://twitter.com/zenkuren>